

学 年
5 年

分数のかけ算とわり算①

年 組 名前

- 1 (1) $\frac{2}{7} \times 3$ の計算を次のように考えました。

□にあてはまる数を書きましょう。

$\frac{2}{7}$ は、 $\frac{1}{7}$ が □ こぶん。

$\frac{2}{7} \times 3$ は、 $\frac{1}{7}$ が □ × □ で □ こぶん。

だから、

$$\frac{2}{7} \times 3 = \frac{\square}{7} \times \square = \frac{\square}{7}$$

- (2) $\frac{3}{5} \div 2$ の計算を、次のように考えました。

□にあてはまる数を書きましょう。

$3 \div 2$ はわり切れないので、分子がわり切れる数になるように、

$\frac{3}{5}$ の分母と分子をそれぞれ 2 倍する。

$$\frac{3 \times \square}{5 \times \square} = \frac{\square}{10} \text{ となるので、}$$

$$\frac{\square}{10} \div 2 = \frac{\square}{10} \div 2 = \frac{\square}{10}$$

学 年

5年

分数のかけ算とわり算①

1 (1) $\frac{2}{7} \times 3$ の計算を次のように考えました。

□にあてはまる数を書きましょう。

$\frac{2}{7}$ は、 $\frac{1}{7}$ が こぶん。

$\frac{2}{7} \times 3$ は、 $\frac{1}{7}$ が \times で こぶん。

だから、

$$\frac{2}{7} \times 3 = \frac{\text{} \times \text{}}{7} = \frac{\text{}}{7}$$

(2) $\frac{3}{5} \div 2$ の計算を、次のように考えました。

□にあてはまる数を書きましょう。

$3 \div 2$ はわり切れないので、分子がわり切れる数になるように、

$\frac{3}{5}$ の分母と分子をそれぞれ2倍する。

$$3 \times \frac{\text{}}{\text{}} = \frac{\text{}}{10} \text{ となるので、}$$

$$\frac{\text{}}{10} \div 2 = \frac{\text{}}{10} \div 2 = \frac{\text{}}{10}$$

学 年
5 年

分数のかけ算とわり算②

年 組 名前

① $\frac{2}{7} \div 3$ の計算を次のように考えました。

(1) □にあてはまる数を書きましょう。

【考え】

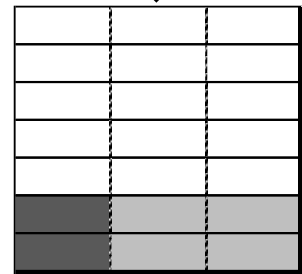
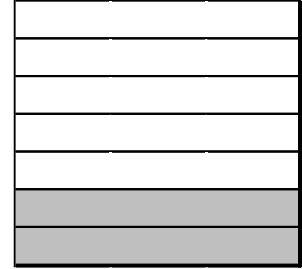
$\frac{2}{7}$ は、1 を □ かに分けた □ こぶん。

$2 \div 3$ は、わり切れないので、右の図のように、

$\frac{2}{7}$ を 3 つに分けます。

すると、1 を □ × □ かに分けた 2 つ分になるので

$$\frac{2}{7} \div 3 = \frac{2}{\square \times \square} = \frac{\square}{\square}$$



(2) 分数÷整数の計算の仕方をまとめましょう。

分数÷整数の計算は

すればできます。なぜかというと、

学 年

5年

分数のかけ算とわり算②

① $\frac{2}{7} \div 3$ の計算を次のように考えました。

(1) □にあてはまる数を書きましょう。

【考え】

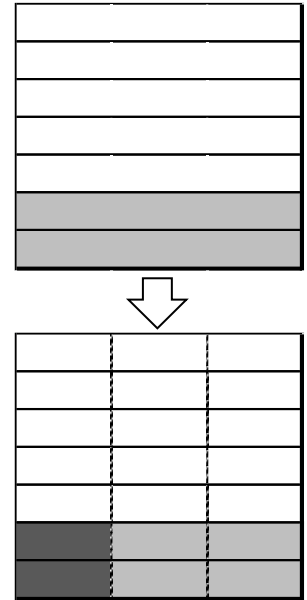
$\frac{2}{7}$ は、1を □ 7 □ に分けた □ 2 □ こぶん。

$2 \div 3$ は、わり切れないので、右の図のように、

$\frac{2}{7}$ を3つに分けます。

すると、1を □ 7 □ × □ 3 □ に分けた2つ分になるので

$$\frac{2}{7} \div 3 = \frac{2}{\square 7 \square \times \square 3 \square} = \frac{\square 2 \square}{\square 2 \square \square 1 \square}$$



(2) 分数÷整数の計算の仕方をまとめましょう。

【例】分数÷整数の計算は

分母にわる数をかければできます

すればできます。なぜかというと、

例えば、3でわるときは、もとになる分数を3倍細かくしないといけないので、分母を3倍すればいいからです。

整数でわるときは、分母を大きくすれば、いいですね。